

防衛協会かがわ



出典：海上自衛隊ホームページ
[\(https://www.mod.go.jp/msdf/\)](https://www.mod.go.jp/msdf/)

艦名：『いずも』

【乗員】 約470名 【基準排水量】 19,950t 【主要寸法】 長さ：248.0m 幅：38m 深さ：23.5m 喫水：7.1m

【主機械】 ガスタービン4基2軸 【馬力】 112,000PS 【速力】 30kt

【主要兵装】 高性能20ミリ機関砲×2 対艦ミサイル防御装置×2 魚雷防御装置1式 対水空レーダー×1
 対水上レーダー×1 水上艦用ソナーシステム1式 EW装置1式 情報処理装置1式

※ 海上自衛隊は2021年10月5日(火)、護衛艦「いずも」において初となるF-35B戦闘機の発着艦検証作業を行ったと発表した。上記の画像は護衛艦「いずも」に着艦したアメリカ海兵隊のF-35B戦闘機である。

INDEX

新年のご挨拶 …… 香川県防衛協会会長 千葉 昭… 2	香川県青年部護衛艦「あけぼの」艦艇見学 …… 7
年頭の辞 …… 陸上自衛隊第14旅団長 遠藤 充… 2	香川県青年部「乃木館・金刀比羅宮等」見学 …… 8
自衛隊香川地方協力本部長 小田 剛… 3	陸上自衛隊第14旅団 …… 9～10
香川県防衛協会この1年 …… 4～5	自衛隊香川地方協力本部 …… 11
第59回香川県防衛協会定期総会 …… 6	受賞おめでとうございます・お知らせ …… 12・13

新年のご挨拶

香川県防衛協会

会長 千葉

昭



新年明けましておめでとございます。

香川県防衛協会会員の皆様方におかれましては、ご家族ともどもお健やかに、佳き新年をお迎えのことと、心からお慶びを申し上げます。顧みますと、昨年も引き続き新型コロナウイルス感染症が政治・経済・社会など様々な方面に甚大な影響を及ぼしました。そのようなかで、夏には東京オリンピック・パラリンピックが開催され、選手たちの活躍は全世界に感動をもたらしめました。また、秋には総選挙により新たなリーダーが選出され、経済活動の停滞や雇用不安といった閉塞感から抜け出す政策の実行が期待されています。

さて、周辺諸国の安全保障環境に目を向けますと、質・量に優れた軍事力を有する国家が集中し、軍事力の更なる強化や軍事活動の活発化の傾向が顕著となっております。我が国においては、更なる防衛力の向上

に努める必要があります。

このような環境下のもと、第14旅団は日々訓練に精励され、昨年は国内における米陸との実動訓練「オリエント・シールド21」や豪州における米豪軍との実動訓練「サザン・ジャッカル」に参加されるとともに、平成5年以來約30年ぶりに陸上自衛隊全部隊を対象とした大規模演習「陸上自衛隊演習(陸演)」にも旅団長以下で参加され、多大な成果を収められたと伺っております。

第14旅団の皆様には、引き続き、陸上自衛隊初の「機動旅団」として、国民の期待に応えるべく、四国4県の防衛・警備はもとより、南西地域等の防衛任務に邁進され、その重責を果たされることを切に期待しております。また、自衛隊香川地方協力本部の皆様には、自衛隊と県民を繋ぐ架け橋として、引き続き、募集・援護・広報業務等に精励していただきたいと存じます。

一方で、大規模自然災害を始め、新型コロナウイルス感染症対策においても、自衛隊への期待は年々高まっております。昨年は、静岡県熱海市における大雨に係る災害派遣や新型コロナウイルス大規模接種センターの設置・運営など、危険を顧みず、勇気と忍耐をもって自らの任務を遂行するとともに、被災者や国民に寄り添い、心の支えになろうと努めて

いる隊員の姿は、多くの国民の心や記憶に刻まれております。

当協会では、今後も自衛隊に対する支援・協力を力強く進めていく決意であります。会員の皆様方におかれましては、引き続き、自衛隊を支える良き理解者として、当協会の事業活動に力強いご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。加えまして、当協会の活動に関して申し上げますと、永年の自衛隊に対する協力・支援等が評価され、昨年、海上幕僚長から当協会に感謝状が授与されました。これも偏に皆様方のご協力の賜物と、心から敬意を表し、深く感謝申し上げます。

最後に、新型コロナウイルス感染症の一日も早い終息を願いますとともに、本年が皆様方にとつて、幸多き一年となりますことをご祈念申し上げます。年頭のご挨拶といたします。

年頭の辞

陸上自衛隊第十四旅団長

陸将補 遠藤

充



新年明けましておめでとございます。

香川県防衛協会の皆様方におかれましては、令和四年の清々しい新年をお迎えのことと、心からお慶び申し上げますとともに、平素より第十四旅団に対する格別のご協力とご支援を賜り心から感謝申し上げます。

さて、世界的大流行となった新型コロナウイルス感染症は、日常生活を含む様々な社会活動に大きな影響を及ぼしており、自衛隊としても重大な関心をもって引き続き注視していく必要があります。また、わが国を取り巻く安全保障環境は一段と厳しさを増し、宇宙・サイバー・電磁波といった新たな領域の出現により、ハイブリット戦という現代の戦いを招来し、平時が有事かを明確に区別できない「グレーゾーン」の存在を際立たせています。この状況下、我々が任務に就く際に与えられる時間はわずかであることから、「即動」できる能力を保持することが重要であり、それが機動旅団たる第十四旅団の価値であると認識しています。旅団は、平成三十年三月に高い機動展開能力を有する機動旅団に改編されて以来、令和四年三月で五年目を迎えます。これまで、民間力を含む陸・海・空の輸送手段を使用した機動展開訓練等を通じて着実に機動旅団として練度向上

及び戦力化を進めてきました。昨年、旅団は、約三十年ぶりに実施された陸自史上最大規模の「陸上自衛隊演習」に参加し、各種事態に実効的に対応するための抑止力・対処力を強化するとともに、国内における米陸軍との実動訓練及び豪州における米豪軍との実動訓練を通じて共同作戦における連携要領等の深化を図りました。

国際貢献においては、昨年の一月から八月までソマリア沖・アデン湾における海賊対処のために第十五次派遣海賊対処行動支援隊要員として旅団から七十五名の隊員を派遣しました。同支援隊は、ジブチ国際空港内に整備された活動拠点において、海自航空隊の警備や拠点の維持管理などを担う部隊であり、気温が五十度を超えることもある厳しい環境の中、無事に任務を完遂し、帰国することができました。これもひとえに皆様方からの激励及びご支援があつたことと感謝申し上げます。

各種災害等への対応においては、引き続き、南海トラフ地震をはじめとする各種風水害等の自然災害に対しても迅速かつ的確に対応するため、各種防災訓練を通じて、災害対処能力の実効性の向上を図るほか、国や香川県等との連携強化に努めて参ります。

本年も第十四旅団は、任務を必ず達成するため、努力して参る所

存でありますので変わらぬご協力とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

最後に、香川県防衛協会の益々のご発展と会員の皆様方のご健勝とご多幸を祈念申し上げます。新年のご挨拶と致します。

新年のご挨拶

自衛隊香川地方協力本部長

一等陸佐 小田 剛



香川県防衛協会の皆様、新年明けましておめでとうございます。

この度、令和3年12月22日付で自衛隊香川地方協力本部長を拝命し香川の地に着任しました小田剛と申します。香川県防衛協会の皆様におかれましては、ご家族共々、令和4年の良き新年をお迎えのことと心よりお慶びを申し上げます。また、平素からの防衛思想の普及及び自衛隊の健全な育成発展に対するご尽力並びに自衛隊香川地方協力本部の活動への格別のご支援ご協力に對し改めて御礼を申し上げます。さて、旧年中は、世界中が新型コロナウイルス

ロナウイルス感染症と戦う中、異例の無観客開催とはなりりましたが、一年越しの東京オリンピックが無事に執り行われ、日本選手団は、過去最多となる19競技58個のメダルを獲得する華々しい活躍を遂げる等、我が国にとって大きな節目の年となりました。

防衛省におきましては、ますます不透明さを増す厳しい安全保障環境の中、岸田首相の指示のもと、我が国の防衛政策の基本方針を示す「防衛計画の大綱」改定に向け、「防衛力強化加速会議」が発足され、様々な検討が加速しております。

一方、自衛隊におきましては、陸上自衛隊の全部隊から約10万人を動員する大規模演習（通称「03陸演」）が、平成5年以来約30年ぶりに実施され、陸上自衛隊としての任遂行能力及び部隊運用の実効性向上と陸上自衛隊が有する抑止力及び対処力の強化を図りました。自衛隊香川地方協力本部におきましても、コロナ禍における種々の制約の中、同演習の出動整備訓練における予備自衛官招集を実動で演練し、多くの課題や教訓を得ることができました。

今後とも予断を許さない新型コロナウイルス感染症の拡大や我が国を取り巻く厳しい安全保障環境、少子高齢化が加速し、ますます困難が予想される募集環境等、移り変わりが激しくスピード感を増す時代の

変化に翻弄されつつも、自衛隊香川地方協力本部におきましては、自衛官等の採用、退職自衛官に対する就職支援、予備自衛官等の管理など、我々に与えられた任務を完遂すべく、熱意と様々な創意工夫をもってウィズコロナ時代に適応し、全部員一丸となって自衛隊の人的基盤拡充のため邁進しております。

本年につきましても、自衛隊香川地方協力本部は、より一層県民と自衛隊を繋ぐ架け橋となるべく、誠心誠意職務を全うして参る所存でありますので、今後とも引き続き皆様方の深いご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、香川県防衛協会の益々のご発展と会員皆様方のご健勝とご多幸を祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

香川地本マスコット

モリーヌくん



『本年も香川地本をよろしく
お願いいたします。』



2月28日
14旅団定期演奏会



千葉会長他数名の役員・会員が高松市レクザムホールにおいて実施された「令和2年度第14旅団定期演奏会」に出席した。

コロナ禍により各種イベントの中止が相次ぐなかの開催で、観客を魅了する華麗なる吹奏楽の響きに盛大な拍手が贈られた。

3月7日
香川県自衛隊入隊・入校激励会



自衛隊協力3団体が主催し、高松サンポート合同庁舎内において令和3年春、自衛隊入隊・入校予定者を招き激励会を実施した。

今年においては、コロナの状況を踏まえ、各協力団体代表者及び入隊・入校予定者のみの激励会となった。千葉会長は各協力団体を代表して入隊・入校予定者のこれからの自衛隊での活躍を祈念し激励の言葉を贈った。入隊・入校予定者は激励の言葉を胸に、それぞれの決意を新たにした。

香川県防衛協会 この1年

令和4年行事予定

- | | |
|-----|---------------------------------|
| 1月 | 自衛隊協力団体賀詞交歓会
(中止) |
| 3月 | 第14旅団定期演奏会 |
| 3月 | 全国防衛協会女性部研修大会
及び女性部研修 |
| 3月 | 令和4年度自衛隊入隊入校
予定者激励会 |
| 4月 | 善通寺駐屯地記念行事 |
| 5月 | 本会役員会
青年部総会
掃海母艦高松入港歓迎行事 |
| 5月 | 第52回中国・四国地区自衛隊
協力団体長会議 |
| 6月 | 全国防協会連合会定期総会
第60回香川県防衛協会定期総会 |
| 6月 | 第44回自衛隊高松定期演奏会 |
| 8月 | 青年部研修 |
| 10月 | 本会研修 |
| 10月 | 全国防衛協会女性部研修大会 |

※ 令和3年においてはコロナ禍で小規模ではあるが
少しずつ各種イベント・行事等活動を実施した。

令和4年においても引き続き新型コロナウイルス
感染状況を踏まえつつ活動を広げていく予定である。

7月22日

艦艇見学 護衛艦「あけぼの」



(護衛艦「あけぼの」艦艇内にて)

サンポート高松港岸壁においてコロナ禍により特別公開で実施された護衛艦「あけぼの」の艦艇広報に本会員、青年部会員を含め17名の会員及びその家族が参加し見学した。

4月16日

女性部役員会



リーガホテルゼスト高松において女性部役員12名、本会から横井事務局長の出席で役員会を開催し、役員改選及び研修等について討議された。また、役員会終了後、梶原本部長より塩田理事に感謝状が贈呈された。

11月21日

第14旅団及び善通寺駐屯地記念行事



善通寺駐屯地において第14旅団創隊15周年・善通寺駐屯地開設71周年記念行事が開催され会長以下数名の役員等が出席した。コロナの影響により規模縮小の記念行事ではあったが、天候に恵まれ観閲式は下本副旅団長以下隊員約800名によって整齊と行われ、旅団長は「プロフェッショナリズムを磨き、国民の皆様から信頼される旅団、駐屯地として、今後益々努力して参る所存であります。」と述べられた。

5月13日

令和3年度役員会



JRホテルクレメント高松において遠藤第14旅団長、千葉自衛隊香川地方協力本部副本部長をお招きし、2年ぶりとなる「令和3年度役員会」を行った。各議事について審議し、コロナ禍における制約を踏まえつつ本年度の運営方針を固めた。



**第59回
香川県防衛協会定期総会**

香川県防衛協会(千葉会長)は、令和三年六月において、第五十九回(令和三年度)定期総会開催を予定していたが、直前の新型コロナウイルス感染症拡大の状況を鑑み、本会を中止した。

総会で予定されていた議案は書面にての審議とし、令和三年六月二十三日に原案通り承認可決され、後日会員に対し、葉書にて審議結果の通知をした。

また、令和三年六月二十九日、高松サンポート合同庁舎内において千葉会長は自衛官の再就職援護協力に対する功績を称え、香川日野自動車株式会社様及び株式会社フジコー様に感謝状を贈呈。続いて協会の事業遂行に対する功績として三名の会員を表彰し、当日欠席した一名の会員へは後日、久保副会長より伝達した。
なお役員改選は次のとおり。



自衛官の再就職援護協力及び協会の事業遂行に対する功績を称え、千葉会長より感謝状・表彰状贈呈

◆ 役員改選 ◆

【防衛協会】

役職名	新 任	退 任
理 事	丸亀市長 まつ なが きょう じ 松 永 恭 二	丸亀市長 かじ まさ ほん 梶 正 治
	坂出市長 あり ふく てつ じ 有 福 哲 二	丸亀市長 あや ひろし 綾 宏
	高松市議会 そ ごう のぶ たか 議 長 十 川 信 孝	高松市議会 いの うえ たか し 議 長 井 上 孝 志

【女性部】

役職名	新 任	退 任
副 部 長	_____	くろ かわ ふ み こ 黒 川 フミ子
理 事	ふ け たか こ 福 家 隆 子	_____

◆ 顧問・相談役の委嘱 ◆

【防衛協会】

役職名	新 任	退 任
顧 問	香川県議会 そ ごう ただし 議 長 十 河 直	香川県議会 にし かわ しょう ご 議 長 西 川 昭 吾
相 談 役	第4旅団長 えん どう まこと 遠 藤 充	第4旅団長 ふじ おか とし き 藤 岡 登志樹

護衛艦「あけぼの」艦艇広報について

香川県防衛協会 青年部長 坂井亮介

令和3年7月22日、23日、24日に護衛艦あけぼのがサンポート岸壁に来港しました。コロナ禍の中、一般公開ではなく全て特別公開となりました。自衛隊に興味を持っている若者を中心に公開行事が行われました。そのような状況の中、香川県防衛協会には7月22日の11時から12時までの見学の許可を頂きました。本会員、青年部会員を含め17名の会員が見学しました。

あけぼののシンボルマークは太陽とライオンを掛け合わせたサンレオ（獅子王）と言われているそうです。夜がほのぼのと明け始める時間帯をあけぼのと呼びますので温かく、力強く、そして日本人の心の文化の象徴として有名な枕草子の冒頭の部分をイメージ化したマークとのことでした。

2002年より就役して以来、あけぼのは各国との共同訓練や災害派遣等でさまざまな活躍をしています。2011年の東日本大震災の際にも現地へ派遣されたそうです。

高松港は普段は自衛隊の艦船は見る事ができませんので今回のあけぼの来港もその大きさに驚かされました。天候にも恵まれ、港の周りでは多くの人々が眺めていたり、写真を撮っていたりしていました。一般公開なら間違いなく行列ができていたことと思います。

公開開始時間の11時になると、数班に分かれて見学が始まりました。乗組員の担当者様から細

かい説明を頂きながら一通り船内を見学しました。今回の艦艇広報で一番記憶に残ったのは62口径76ミリ単装速射砲を動かしていただいたことです。非常ベルが鳴り、標的に素早く向かう動作には驚かされました。最大射程は約16キロで76ミリの砲弾が1分間に100発発射されることを考えると万が一、戦闘が起これば壮絶な戦いになることは容易に想像できます。平和な国日本を護ってくれている自衛隊の皆さんに改めて感謝いたします。

私は自衛隊の艦船に何度か乗せて頂き見学をしましたが、香川県に住んでいてまだ艦船を見たことが無い方も多くいると思います。コロナが落ち着いた際には是非一般公開していただき、この艦船の能力や役割、そして平和の尊さを知って欲しいと思います。

昨年に続き、今年も防衛協会青年部としてなかなか事業を行うことはできませんが、動ける時期が来ましたら自衛隊の活動を地域の人々に啓蒙していきたいと思ひます。



令和3年度 香川県青年部
乃木館及び掃海殉職者顕彰碑・
金刀比羅宮御本宮参拝研修

香川県防衛協会青年部
会員 宇野 由貴子

青年部では令和3年11月25日（木）に陸上自衛隊善通寺駐屯地「乃木館」、琴平町の「掃海殉職者顕彰碑」、金刀比羅宮御本宮への参拝研修を香川地方協力本部から総務課総務班長戸井田浩美1等陸尉、総務係中畑寛美2等陸曹にご同行戴き行いました。新型コロナウイルス感染症の影響で暫く研修などの行事が自粛されておりましたので久し振りの実施に嬉しさと共に善通寺駐屯地で任務を遂行されている自衛官の方々のご対応に気持ちが引き締まる感覚となりました。



明治31年に四国全域の師団司令部として初代師団長乃木希典将軍が指揮を執られた歴史ある建物が今も現役で1階では第14音楽隊が使用されており館内に一歩足を入れると歌声が聴こえてきました。乃木希典将軍は誰よりも早く出勤し自らを律し、夫人に対しても金倉寺「妻返し」の松で伝わる厳しい態度を示しながらも僧侶や決戦後は敵国の軍人のみならずその家族にまで気遣いを続けられたお話を今でも思い日本人として大切にすべき精神を改めて学びました。また、各部屋の多くの歴史資料から今では想像もつかない時代があり、そして西村優子1等陸曹が語られた「日本語だけで過ごすことが出来続けている日本の凄さ」は、日本を守り続けて下さった方々の上に成り立っていることを決して忘れてはならず、改修すべき箇所が多々ある中でも大切に使用されている乃木館を保存し続ける意義の大きさを感じました。ご説明後

には香川地方協力本部で長年お世話になり現在は第14旅団司令部総務課広報班所属の渉外陸曹岡田春美1等陸曹がお越し下さっており再会することができとても嬉しかったです。

その後、金刀比羅宮参道で陸上自衛隊をご退官後、石段264段目にある亀屋高津商店を営んでおられる高津悟様のご案内で第二次大戦後に残存機雷除去のために自らの危険を顧みず作業に挺身され殉職された79名の方々の偉業を讃えた「掃海殉職者顕彰碑」、金刀比羅宮御本宮を参拝致しました。高津様の詳しいご説明で参道にある阿波、伊予・土佐街道や「賢木門」（さかきもん）の謂れなどを知り、今まで金刀比羅宮参拝時には気が付かなかった視点で参拝することが出来ました。また、下山時には大門で鼓楼から17時の時太鼓を初めて聴くことができ108回も叩いておられることも知りました。



コロナ禍で研修を実行するのはなかなか厳しい環境ですが、感染防止を行いながら実施した今回の研修では自衛官の皆様から直接お話しを伺い接することで日常生活では得られない現状や空気を肌で感じ、改めて安心して暮らすことが出来ている日本であり続けていることは当たり前ではなく、日々任務に邁進して下さっている自衛隊の皆様に対して感謝の気持ちでいっぱいになりました。

最後になりましたが、このような貴重な機会をご準備ご対応戴きました香川地方協力本部、善通寺駐屯地の皆様そして高津様に厚く御礼申し上げます。皆様の益々のご活躍並びにご健勝そして香川県防衛協会のご発展を心からお祈り申し上げます。

部隊の能力を最大限発揮

—第15即応機動連隊による作戦統制と、各部隊の積極的なフォローシップ—

旅団演習を実施

5個部隊が受閲

第14旅団（旅団長遠藤充陸将補）は、前段9月中旬から10月上旬までの間、霧島演習場（宮崎県）、福山演習場（鹿児島）、国分台演習場（香川県）及び各所在駐屯地、後段10月中旬に、あいは野演習場（滋賀県）において「令和3年度旅団演習」を実施した。

前段は、約30年ぶりとなる令和3年度陸上自衛隊演習の場を活用して旅団全部隊を動員し、出動準備に係る各種補給品の受領・積載、ミツシヨソリハーサルとして小火器射撃訓練・通信縮小系訓練及び西方地域への機動展開を実施し、旅団全体の作戦遂行能力の向上及び各種計画の実効性向上を図った。後段では、課目「島嶼における部隊の行動」について、第15即応機動連隊、第14後方支援隊、第14施設隊、第14通信隊及び第14特殊武器防護隊の5個部隊に対し訓練検閲を実施し、教育訓練の成果を評価するとともに、その練度向上を促した。



海上機動による九州への上陸



ミッションリハーサルを行う第14旅団隊員



◀旅団内システム通信構成を行う第14通信隊



重要防護施設等の防護を行う第15即応機動連隊 ▶

本訓練検閲を実施するにあたり統裁官である旅団長は、9月15日、受閲部隊に対して、第15即応機動連隊「適切な作戦統制による戦闘力の組織化」、第14後方支援隊「Sustainment（後方支援）なくして戦勝なし」、第14施設隊「作戦構想に基づく火力と障害の連携」、第14通信隊「指揮の命脈を構成・運営」、第14特殊武器防護隊「被害を局限し戦闘を継続させる」と訓示し、状況を開始した。



国内における米陸軍との実働訓練

OS21 オリेंट・シールド



日米共同作戦 —相互連携要領を演練—

第14旅団（旅団長遠藤充陸将補）は、令和3年6月24日から7月9日までの間、「令和3年度国内における米陸軍との実働訓練（オリेंट・シールド21）」に参加した。

本訓練は、国内の各演習場等において陸上自衛隊及び米陸軍の部隊が、それぞれの指揮系統に従い、共同して作戦を実施する場合における相互連携要領を実行動により演練し、共同対処能力の向上を図る事を目的として実施された。

第14旅団からは、第15即応機動連隊（連隊長品川淳二一等陸佐）及び第14特殊武器防護隊（隊長新美賢一三等陸佐）の他、統制部等の要員を含め約1200名が参加した。

米陸軍側からは、第28歩兵連隊第1大隊（大隊長ベカ中佐）、第340化学中隊（中隊長セベランス大尉）の約600名が参加し、各種共同訓練において日米相互の緊密な連携の下、小部隊の訓練から総合訓練まで段階的に高い訓練目的を達成した。

さらに、スポーツ交流及び音楽演奏等の文化交流行事を通じて日米相互の絆を深め信頼関係を築く等、多大の成果を上げ訓練を終了した。

豪州における米豪軍との実働訓練

SJ21 サザン・ジャッカル

日米豪の連携強化 戦術技量の向上を図る



第14旅団は、5月23日から7月18日までの間、豪州ノーザンテリトリ州マウント・バンディ演習場において豪州における米豪軍との実働訓練を実施し、戦術技量の向上及び米豪軍との連携の強化を図る目的として「令和3年度豪州における米豪軍との実働訓練（サザン・ジャッカル21）」に参加した。

本訓練は、陸上自衛隊（第50普通科連隊（連隊長溝口光章一等陸佐）基幹、豪陸軍（第1旅団）及び米海兵隊（第3海兵機動展開部隊ターウィンローテーション部隊）との3カ国の実働訓練を実施し、O1ATM（携帯対戦車誘導弾）・狙撃、市街地訓練及び総合訓練（林内における戦闘射撃）より、隊員・部隊の射撃及び戦術技量の向上を図った。



自衛隊香川地方協力本部は、新規事業として令和2年6月1日にオープンした四国最大級の水族館である「四国水族館」において、令和3年7月31日(土)に第14音楽隊とのコラボイベントを開催した。

本イベントは、令和3年3月下旬より自衛隊香川地方協力本部中・西讃地区隊長が、新型コロナウイルス感染症の影響で行動を制限されている子供達をはじめ、大勢の方々に喜んで貰えるイベントを開催できないかとの熱い想いを胸に、四国水族館との間において数ヶ月の調整を重ねた末に実現したものである。

この四国水族館の最大の魅力は、なんとといっても瀬戸内海に面した水槽で行われる「イルカショー」である。そしてこの壮大な瀬戸内海を背景に行われるイルカショーと音楽隊の演奏とのコラボレーションが、本イベントの特別メインプログラムとして実施された。

当日は天候にも恵まれ、絶好のイベント日和となった。イルカショーでは、瀬戸内海をバックに第14音楽隊の生演奏に合わせてトレナーの合図により、大勢のイルカたちの華麗なジャンプが次々と繰り広げられた。特に最終回のショーにおいては、夕日に染まった瀬戸内海の美しい情景とダイナミックなイルカのジャンプ、そして音楽隊の柔らかな音色が重なり、観客席は観客からの感嘆の声と拍手喝采に包まれた。

自衛隊香川地方協力本部としては、沈んでいく夕日とともに大盛況のうちに幕を閉じた本イベントが、コロナ禍で暮らす人々のひと時の癒し、そして明日への



活力となってくれたことを切に願うとともに、今後も県民の皆様にも、自衛隊に親しみを感じていただける様々な楽しいイベントを企画していく予定である。



自衛隊香川地方協力本部新企画

四国水族館・第14音楽隊コラボイベント





受賞おめでとうございます



全国防衛協会連合会表彰

令和3年6月3日
副会長 泉 雅文 (高松市)

香川県防衛協会会長 表彰

令和3年7月26日
「協会の事業遂行に対する功績」
常任理事 石原俊輔 (高松市)

香川県防衛協会会長 感謝状

令和3年6月29日
「自衛官の再就職援護協力に対する功績」
・香川日野自動車株式会社
・株式会社フジユー

令和3年6月29日
「女性部の事業遂行に対する功績」
女性部理事 大村里美 (さぬき市)
「青年部の事業遂行に対する功績」
青年部部长 坂井亮介 (高松市)
青年部会員 太田貴也 (高松市)

海上幕僚長感謝状

令和3年12月10日
香川県防衛協会

陸上幕僚長感謝状

令和3年12月10日
副会長 泉 雅文 (高松市)



中部方面総監感謝状

令和3年10月2日
常任理事
佐藤 哲也 (高松市)

第14旅団長感謝状

令和3年11月26日
会長 千葉 昭 (高松市)
女性部長 今田 宏子 (観音寺市)

香川県地方協力本部長感謝状

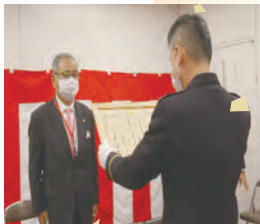
令和3年4月16日
女性部理事
塩田 史子 (観音寺市)



祝!! 防衛大臣感謝状受賞

令和3年12月10日

香川県防衛協会 副会長 中 博史



お知らせ

香川県防衛協会に入会される方をご紹介します。

香川県防衛協会では組織の拡充と活性化を図るため新会員を募集中です。
防衛協会に入会し、自衛隊を見学・応援しましょう。
法人団体・個人・青年・女性の方々のご入会お待ちしております。
お電話にてご連絡ください。直ちに入会資料をお送りします。

TEL: 080-8633-2737 担当: 戸井田・中畑
ホームページ: <http://www.kagawa-bouei.jp/news>



編集後記

昨年コロナ禍でなにもイベントが出来ない年でした。その中で、明るいニュースもありました。副会長の中さんが防衛大臣から感謝状を頂きました。紙面で詳細はご確認下さい。
県内の感染者は減少していますが、引き続き警戒しなければなりません。が、今年こそ普通にイベントの出来る年にしたいものです。

「防衛協会かがわ」

編集室 久保 智彦 横井 貴典
発行所 香川県防衛協会
〒七六〇-1869-1

香川県高松中央郵便局
私書箱111号

TEL 〇八〇-八六三三-二七三七
印刷所 (株)万成社
〒七六〇-1004-1

TEL 〇八七-八二二-三三八八
香川県高松市百間町五-二



